

第五十九回
帝國議會
貴族院

輸出生絲檢查法中改正法律案特別委員會會議事速記録第二號

付託議案

蠶絲業組合法案

蠶絲業法中改正法律案

昭和六年三月十八日(水曜日)午後一時四十分開會

○副委員長(子爵伊集院兼知君) 開會ヲ致シマス、何カ御質問ガアリマシタラドウゾ、大臣モ御見エニナッテ居リマスカラ、隔意ナク遊バスヤウニ願フデ置キマス

○男爵平野長祥君 私一ツ、自分ガ常ニ考ヘテ居リマス點ヲ少々申述ベテ、サウ云フ御考ヲ持ッテ居ラシヤルカ、將タ將來ソレニ付テ御考ヘ下サルカト云フコトヲ一ツ伺ッテ見タイト思フノデアリマス、此格付検査ノ今回ノ改正ニ依ッテ、愈々其検査ガ國際的ノ検査ト云フコトニ迄進捗シテ行クヤウニ過日來ノ御答辯ニ依ッテ察セラレマスノデ、誠ニ是ハ結構ナコトト思フノデゴザイマス、諸テ其検査ノコトガ、我國ノ國營ノ検査ニ依ッテ、是ガ一般ニ世界的ニ行ハレルモノト致シマシテ、是ハ結構デアリマスガ、尙ホ一步進シテ其次に起ルベキ問題ハ、私ハ此取引ノ改善ト云フコトガ自然伴ッテ行ハレテ來ナケレバナラヌ問題ダト思フノデ

アリマス、而シテ其取引ノ改善ト云フコトニ付キマシテハ、其方法ハ澤山アリマセウト存ジマス、併ナガラ私が常ニ面ノアタリ感ジテ居リマスコトハ、兎ニ角今日ハ商工省邊リニ於テモ、合理局ノ如キモノヲ置イテ、總テノ生産物ニ對スル統制、其他ニ於テモ合理化ト云フコトヲ頻リニ唱道サレテ居ル世ノ中デアリマスシ、又是ハ結構ナコトデアリマセウト思ヒマスル、然ルニ此生絲取引ノ總テノ行為ニ於テ、此合理化的ナラザル行為ガ傳統的ニ傳ハッテ其儘ニナッテ居ルノデアリマシテ、ソレハ一日モ早ク何トカ改メラレネバナラヌデアラウト私ハ思フノデアリマス、其第一ニ於テ伺ヒタイト思ヒマスノハ、私が申上ゲルマデモナク御承知アラセラレル通り、此舊幕時分カラノ仕來リデ、馬ノ脊デ生絲ヲ市場ニ運ビ來タル所ノ習慣ガ今日デモ其儘ニ殘ッテ居ルト云フノハ、例ノ一梱、二梱ト云フヤウナ梱ト云フコトデアアルノデス、是ハ今日デハ何等私ハ實用ニ適シテ居ルモノデハナクシテ、唯傳統的ニソレヲ一般ニマダノ改メズシテ行ハレテ居ルト云フ有様デアリマス、聞ク所ニ依リマス、近來ハ或製絲家

ニ依ッテハ斤量デ、依ニシテ市場ニ出ス者モアルヤウニ聞イテ居リマス、併ナガラ多クハ此梱ト云フモノデ造リ出シテ居ル、一梱ト申スモノモ其目方ガ甚ダ曖昧ナルモノデアリヤウデアリマス、私が承知イタシテ居リマス所ニ依リマスルト、一梱ノ目方ガ八斤ノモノモアリ、九斤ノモノモアルト云フヤウナ區ミデアリヤウデアリマス、是ハ昔ハ馬ノ脊ニ四ツ著ケテ、四梱ヲ一駄トシテ出シタ習慣ガ今日マデ殘ッテ居ルヤウナ有様デ、第一、一梱二梱ト云フ其梱ト云フヤウナ荷造方法ヲ變ヘラレテハ如何デアラウカ、詰リ之ヲ或一定ノモノニ爲サルコトガ第一著トシテ必要デハナイカト思フノデアリマス、續イテ私ハ常ニ其感ヲ持ッテ居リマスルガ、ソレハ海外ニ對スル取引ノ計算方法デアアルノデアリマス、現ニ亞米利加ヲ第一ノ得意ト致シ、他ニ歐羅巴或ハ濠洲等ニ取引モ多少アリマセウケレドモ、兎ニ角亞米利加ヲ主眼トシテ見マスルナラバ、何トカ彼ノ國ノ目方ノ勘定ト我國ノ目方ノ勘定ヲ何トカシテ合セル方法ハナカラウカ、ソレニハ今日ハ小學兒童ニ迄、此「メートル」法實施ニナッテ、總テ「メートル」、

「グラム」「リットル」ト云フヤウナコトニ教育ヲサレテ居ルノデアリマス、然ルニ今日行ハレテ居ル我國ノ此目方換算ノ方法ト云フモノハ、舊來ノ一斤二斤ト云フヤウナコトデ計算ヲサレテ居リマス、然ルニ主ナル輸出先ノ米國ハ「ポンド」ヲ以テ勘定ヲシテ居ル、其「ポンド」ハ御承知ノ如ク百二十匁ナニガシデアアル、我國ノ一斤ハ百六十匁ト云フ勘定デアリマス、是ガ假リニ一俵百斤トシテ先方ニ出シマスルト、先方ハ「ポンド」デ計算ヲシテヤリマスノデアリマスカラ、相互ノ間ニ取引ノ上ニ於テ其計算方法ガ非常ニ煩鎖ニナリマス、ソレガ爲ニ人間モ非常ニ要リマセウシ、又時間モ非常ニ要スルノデ、斯ノ如キ手段ヲ省クト云フコトハ矢張り取引上ニ之ヲ合理化サセルニ付テ何トカ御考ヘニナラナケレバナラヌコトグラウト私ハ常ニ思ッテ居ルノデアリマス、去リトテ此相手方タル米國ニ於テハ「ポンド」制ヲ變ヘルト云フヤウナコトハ決シテシマイト思フノデアリマス、然ラバ我國ニ於テ何トカ之ニ鈞合フヤウニ「メートル」法モ實施サレテ居ルノデアアルカラ、ソレニ適ウテ何カ一定ノ計算方法デモット容易ニ其計算ガ付クヤ

ウニセスケレバ取引上ノ計算ノ煩鎖ト云フモノハ、是ハモウズト輸出業者、輸入業者ノ間ニ始終困難ヲ感ジテ居ルコトデアラウト思ヒマスルシ、現ニサウ云フ聲モ多少聞クノデアリマス、デ私ハ先ヅ取引改善ノ一著手トシテサウ云フ方面カラ何トカ御手ヲ御付ケニナッテハ如何デアラウカ、サウ云フ御考ヲ既ニ持ッテ居ラレヤ、或ハナケレバ將來ソレニ付テ御考ヲ下サル氣持ガアルカ否ヤト云フコトニ付テ、私ハ一ツ伺ッテ見タイト思フノデアリマス

○國務大臣(町田忠治君) 取引ノ改善ノコトニ付キマシテハ御話ノ通り各方面ニアルノデアリマス、繭ノ取引ノ從來ノ不圓滑ナコト、其他實際取引ノ圓滿ニ參ッテ居ラヌコト、蠶絲蠶種其他總テノ點ニ於テ相當改善イタシテ居リマスルモノモゴザイマス、只今平野男爵ノ御話ノゴザイマシタル生絲輸出ニ對スル取引ノ關係ニ於テ、只今ハ輸出イタシマスル時ハ洋俵百斤、地方カラ參ル時ハ一捆五十五斤デスカ位ニナッテ、横濱ニ來マシテ之ヲ一旦解イテ更ニ洋俵ニシテ行クト云フヤウナ、間ニモ無駄ナ手數モ掛カリ、其他色々ノ少カラヌ支障ガアルコトハ御話ノ通りデアリマス、後程御説明申上ゲテ御協賛ヲ願ヒタイト思ヒマスル此度ノ

蠶絲業組合法ガ新タニ制定出來マスルト、從來ノ同業組合デヤリマシタ組合法以上ニ、統制上ニ於テモ效果ガ進ムヤウナ法律ノ立方デアリマス、積極的ニ指導獎勵、統制ノ方ニ重キヲ置イテアリマス、從ッテ其中ノ……此法案ノ時ニ御説明申上ゲマシガ、規格統制ト云フコトニ相當重キヲ置イテ居リマスガ故ニ、自ラ御希望ノヤウナコトハ此度ノ蠶絲業組合法ガ出來マスルト有效ニ參ルコトト思ヒマス、同時ニ衆議院ノ委員會ニ於テモ希望ガアリマシタガ、是ガ通りマスト遠カラズ清算取引ノミナラズ現物取引ノ途ヲ開イテ、取引ノ圓滿ヲ圖ルヤウニ致シタイ、亞米利加ニ參リマシテ日本カラ參リマス洋俵ト、亞米利加ノ「ボンド」トノ立方ニ對シテ茲ニ相違ガ生ジマスルト、又亞米利加ニ於テ取引ニ滯滞ヲ來スコトハ御意見ノ通りデアリマス、從來農林省デモ殊ニ横濱検査所ニ於テ其點ノ調和ヲ圖ル爲ニ研究ヲ致シテ居リマスル次第ハ検査所長ヨリ大體ヲ申上ゲテ御諒解ヲ得タイト思ヒマス

○説明員(芳賀權四郎君) 御答ヲ申上ゲマス、第一ニ此荷造リノ不完全カラ絲ガ非常ニ痛ム、何トカ之ヲ改良スル意思アリヤ否ヤト云フ第一ノ御尋ネノ點ハ、今日直接生

絲ヲ扱ッテ居リマスル私共ハ、常ニ其點ニ鑑ミマシテ非常ニ遺憾ニ心得テ居リマスル點デゴザイマス、只今生絲検査所ニ於キマシテ荷造リ方法ノ研究ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、成ルベク只今御話ノアリマシタ通り梱造リハ絲ヲ痛メマス、又其絲ノ數量ノ如キモ二十括ノモノモアリ、十五括アリ十六括アリ、從ッテ目方モ非常ニ相違ガアルノデアリマス、是等ヲ一定ニスル必要ガアルト存ジマシテ、成ルベク百斤造リノ洋俵ノ通ヒ袋ヲ作ッタナラバ、函ノモノデ一回限りノモノヨリモ、非常ニ經濟的ニ行クグラウト云フコトデ、色々調ベマシタ結果、現ニ京都府ノアノ郡ニ製絲其他二三ノ製絲場デハ函ヲ廢シマシテ、洋俵造リニナッテ神戸市場ヘ出シテ居ルノデアリマス、ソレハ絲ヲ痛メマセヌノミナラズ絲ノ包裝ノ上カラ申シマシテモ非常ニ宜シイノデアリマス、ソレカラ運賃ノ經費モ輕減サレ、又函ノ代ニ比シテ通ヒ袋ガ長期ニ亙ッテ使用ガ出來マスノデ、非常ニ安ク上ガルヤウデアリマス、私ノ所デ調ベマシタ結果モ通ヒ袋ニ致シマシタ方ガ、絲ガ痛マズ又經費ノ點ニ於キマシテモ非常ニ安ク上ガルト云フコトガ分リマシタノデ、今度第三回ノ格付検査ヲ行フ此機會ヲ利用イタシマシテ、總テ洋俵造リ

ニ致サセタイ、斯様ニ考ヘマシテ今製絲家側、問屋側、或ハ輸出商側ニ勸誘ヲ致シ交渉イタシテ居ルノデアリマス、其見本ヲ検査所デ造リマシテ帝倉倉庫會社ノ中ニソレヲ備付ケテ置キマシテ、皆ニ見セテ居リマス、非常ニ今好評ヲ博シテ居リマス、併シ其通ヒ袋ヲ造リマスノニ一時ニ相當ノ金ヲ要シマスノデ、急速ニ通ヒ袋ニ變更スルト云フコトハチヨット、期セラレマセヌガ、兎ニ角函造ト袋造トハ經費ノ上ニ於テ非常ニ相違ガアリマスノデ、ボツ／＼改メヤウト云フヤウナ意向ガ此製絲家ノ中ニ現ハレテ參ッテ居リマス、ソレデツイ二三日前ノ話デアリマスガ、片倉組デモ一ツ自分ガ試シテ見ヤウ、幸ニ検査所ニサウ云フ見本ガアルナラバ其通ヒ袋ヲ貸シテ呉レヌカ、一ツドウ云フ計算ニナルカ調ベテ見タイト云フコトデアリマシタノデ、サウ云フ風ニ今研究ヲ御互ニ致シテ居ル譯デアリマス、ソレカラ此目方ノ關係デアリマスガ、検査所デハ從來「メートル」法ヲ採用イタシテ居リマス、ソレデ日本ノ百斤ハ丁度「メートル」法「グラム」デ言ヒマス六十「キロ」ガ丁度日本ノ十六貫目ニ相當イタシマス、ソレデ檢定證ニハ普通「キロ」所謂「グラム」デ目方ハ現ハシテ居リマスガ、取引ノ便利ノ爲ニ日

本ノ斤ニ之ヲ換算スル、又御得意ガ亞米利加
デアリマスカラ、亞米利加ノ當業者ノ便利ノ
ヤウニ「キログラム」ヲ「ポンド」ニ換算シテ
其檢定證ニ付ケテヤリマス、從ヒマシテ日
本ノ百斤ハ丁度「グラム」ニシマスト六十
「キロ」、之ヲ「ポンド」ニシマスト百三十六
「ポンド」デ、少シ端下ガアリマスガ、サウ
云フヤウナ數字ニナリマス、之ヲ一口一俵
毎ニ換算表ヲ付ケテ檢定表ヲ交付イタシテ
居リマスノデ、亞米利加デモソレハ大變重
寶ガッテ居ルヤウデアリマス、デ今度モ矢張
リサウ云フ風ニ換算シテ檢定書ヲ交付スル
考デアリマスルカラ、ドウゾ其點ヲ……

○男爵平野長祥君 モウ一ツ簡單ナコトデ
アリマスルガ、是ハ檢査所長ニ伺ヒタイト
思ッテ居リマスルガ、近頃私共聞キマスル所
ニ依リマスルト、此絲條班檢査、即チ「セリ
プレーン」檢査ニ於テ、何カ是ハ一定ノ檢査
ノ規則デアリマスルカ、各梓カラドノ位ノ
長サノ絲ヲ框ニ巻取ル、其巻取方ガ一ツノ
梓ノ兩端カ或ハ中央ト限ラレテ居ルト云フ
ヤウナコトデ、或製絲家ニ於テハ惡意ヲ以
テ其兩端カ中央ニ立派ナモノヲ置イテ、ア
トハ隨分如何ハシイモノヲ置クヤウナ梓ヲ
造ルト云フコトデアッテ、アノ「セリプレー
ン」檢査ト云フモノモ中ニ當テニハナラ

ヌモノデアルト云フヤウナ説ヲ聞クノデア
リマス、實際ニサウ云フコトガアリマセウ
カ、若シサウ云フヤウナコトガアレバ、ア
ノ「セリプレーン」檢査ト云フモノモ中ニ當
テニハナラヌモノデヤナイカト實ハ思フヤ
ウデアリマスルガ、果シテソナコトデモ
アリマセウカ、實際ニ御試シノ上デ果シテ
ソナ風ナ絲ヲ御見出シニナッタコトガア
リマセウカ、ソレヲ一ツ伺ッテ見タイと思フ
ノデアリマス

○説明員(芳賀權四郎君) 以前ハ御尋ネノ
ヤウナ不正行爲ガ相當行ハレタコトハ事實
デアアルデアリマスガ、其後製絲家モ大變目
覺メテ參リマシテ、サウ云フ弊害ハ殆ト無ク
ナッテ居ッタデアリマス、所ガ昨年亞米利加
ノ市場ニ於キマシテサウ云フ不正行爲ヲ行
ヒマシタ絲ガ發見セラレマシテ、ソレガ向フ
デモ大變問題ニナッタノデゴザイマス、デ檢査
所ト致シマシテハ絲ヲ繰返シマス……今ノ
取引ガ丁度千斤ガ取引ノ單位ニナッテ居リマ
ス、依ニシマスト十俵デアリマス、其十俵ノ
中カラ檢査ノ際ニ斯ウ云フ絲ヲ五十本取り
マス、此五十本絲ヲ繰返シマスノニ表ノ側カ
ラ二十本……二十本ハ表カラ、ソレカラ二
十本ハ此梓ヲ裏ニ引繰リ返シテ、裏ノ方カ
ラ繰返シマス、ソレカラ十本ハ此梓ヲ真中

カラ割リマシテ、中カラ十本繰返スヤウニ
致シテ居リマス是ハ御説ノ通り檢査所ハド
ノ部分デ檢査スルト云フコトガ分リマス
ト、其部分ダケ良イ絲ヲ入レテアトハ惡イ
絲ヲ入レルコトハ出來マスノデサウ云フ不
正ノ行ハレヌヤウニ、表カラモ二十本、裏
カラモ二十本、ソレカラ真中ノ所ヲ割ッテ十
本ハ繰返ス、斯ウ云フコトニ今度改メマシ
タ、サウシマスト云フト殆ド何所カラ取ル
ト云フコトガ分リマセヌカラシテ、ソレデ
此長サガ凡ソ四萬五千「メートル」内外一本
ノ絲ノ長サガアリマス、ソレデ一分間ニ百
五十「メートル」ノ長サデ普通繰返シマスカ
ラ、一時間ニ丁度一萬「メートル」以上一時
間ニ繰返サレルヤウニナリマス、デ今日ノ
繰返シガ四十分ニ繰返シマスカラ、丁度約
一萬五千「メートル」位ニ兩側カラ繰返シマ
シテ、真中ガ丁度二千「メートル」位アル譯
デゴザイマス、其二千「メートル」位ニ今マ
デアンコヲ入レテ居ッタ、其アンコヲ入レラ
レナイヤウニ今ノヤウナ繰返シヲ致シマス
ノデ、入レレバ直グ發見サレル譯デアリマ
ス、サウ云フ繰返シ方ヲ致シマシタナラバ
今ノヤウナ不正ハ、ドウシテモ行フコトハ
出來ナイヤウニナラウト考ヘテ居リマス、
今度ノ格付檢査ニハサウ云フ繰返シ法ヲ執

ル積リデアリマス、ソレカラ此「セリプレー
ン」ニ巻取リマス、數ハ、今ノヤウニ巻キ取
リマシタ絲ノ中カラ丁度百區劃、アノ仕切
リガ百デアリマス、百區劃ヲ檢査スルヤウ
ニナッテ居リマス、サウ致シマスト大體絲ノ
持ッテ居リマス缺點ガ區百劃ノ中ニ大抵現
ハレマスノデ、ソレニ依ッテ大體檢査ノ公正
ヲソレデ得ラレルト考ヘテ居リマス
○副委員長(子爵伊集院兼知君) 別ニ御質
疑ハアリマセヌカ
〔「アリマセヌ」ト呼フ者アリ〕

○副委員長(子爵伊集院兼知君) 別ニ之ニ
付テ御議論モナイヤウニ存ジマスガ、本案
ニ付テ採決ヲ致シタイと思ヒマス、如何デ
ゴザイマスカ、

○男爵平野長祥君 採決ニ先ダチマシテ、
私ハ決議トカドウトカ云フコトヲ望ム譯デ
アリマセヌガ、私トシテ諄イヤウデハアリ
マスガ、極ク簡單ニ希望ヲ述ベテ此案ニ御
賛成シタイと思フノデアリマス、ソレハ過
日來カラ御質問申上ゲ、又御答辯モ得マシ
タノデ非常ニ能ク諒解ヲ致シマシタノデア
リマスルガ、兎ニ角今回ノ此品位檢査ヲ加
ヘラレテ生絲ノ徹頭徹尾十分ナル檢査ガ行
ハレルト云フコトニナリマシテ、當局ノ御
答ニ依ッテ見マスルト現ニ亞米利加ヲ第一

トシ他ノ、一昨年紐育ニ會合ノアツタ場合ニ
モ他ノ五箇國ノ代表ガソレ／＼日本ノ檢定
ハ至極正當ナモノト認メテ居ルト云フ御話

スルノデアリマス、其希望ヲ述ベテ此案ニ
ハ全然賛成ヲ致シマス

○子爵牧野忠篤君 私モ只今平野サンカラ

モアリマシタ位デアツテ、今日デハ亞米利加
ト日本トノ間ニ此検査方法ニ付テハ最早ヤ
紙一重ノ相違ガアル位デ、日ナラズ亞米利

御述ベニナリマシタコト同ジヤウナコト
ヲ私ノ希望トシテ固ク當局ノ方ニ願フテ、條
件ト云フ意味デナイノデスガ、一應申上ゲ

加ニ於テモ日本ノ此検査ト云フコトニ付テ
ハ満足スルト云フヤウナ御答デアツテ見マ
スレバ、自然皆本検査所ニ於ケル此検査ト

テ置キタイト思フ、今回御提出ノ案ニ付キ
マシテハ、多年當事者タル此貿易商ニハ非
常ナ反對ヲシテ居ッタコトハ明カナコトデ

云フモノガ國際的ノ検査ト云フコトニナラ
ナケレバナラヌノデアリマシテ、自然サウ
ナルコトデタラウト存ジマス、ソコデ私ハ

アリマシテ、過日來日米ノ業者ノ御話ノコ
トヲ伺ヒマシテ、非常ニ我々満足ニ存ズル
ノデアリマス、ソレデ今日ハ當業者モ第三

是非共一日モ早ク此日本ノ神戸横濱ニ於ケ
ル此検査所ニ於ケル所ノ検査ト云フモノヲ
以テ、最早再ビノ検査ハ行ハヌ、何レノ取

者モ檢定ト云フコトニハ非常ニ絶對ニ信賴
ヲスルヤウニナッタコトハ非常ニ宜イコト
デアリマシテ、大正十五年、五十一議會デ

引先ニ於テモ検査ヲ行ハヌト云フ程ニナル
ヤウニ是方國際的ノ、各國ニ於テ此検査ヲ
基礎トシテ取引ガ十分ニ行ハレルト云フコ

シタカニ正量検査ノ方法ノ定マル時ニ、格
付ト云フコトハ既ニアルベキコト思ヒマ
シタケレドモ、今申シマシタ通り此當事者

トニナルヤウニ、一日モ早ク當局ノ御努力
ヲ願ウト云フコトハ私ハ此我國ノ輸出生絲
ニ付テハ最大眼目デアラウト思フノデアリ

ノ猛烈ナ反對ノ爲ニ當局者ガ機ヲ失シタ、
今日此機會ニ此格付方法ト云フモノヲ此際
御出シニナッタト云フコトハ、誠ニ我國ノ蠶

マシテ、續イテ先程モ御尋ヲ致シマシタ此
取引ノ改善ト云フコトハ種々アリマセウケ
レドモ、先ヅドレカラ先キト云フコトデモ

絲業ニ對シテ非常ニ御同慶ニ堪ヘヌ次第デ
アリマス、丁度此場合デアリマスカラ尙ホ
願フテ置キマスコトハ、本法ニ依ル検査ノ成

アリマスマイケレドモ、何シロ一步々々此
改善ノ途ヲ圖ラレムコトヲ偏ヘニ私ハ希望

蹟ト云フコトニハ是非ドウカ日米協調ヲ
保ッテヤラレムコトヲ望ムノデアリマス、此

格付方法ニ付テハ日米間ニ於キマシテ過日
モ御話ニナリマシタ通り、協議ヲ重ネテ居
ルト云フヤウナ次第デアリマスレバ、當然

ト認メテ宜シウゴザイマスカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

接近シテ行クコトハ疑ヒナイコトデアリマ
ス、今マデ通りノ又外國ト協調ノ保テナイ

○副委員長(子爵伊集院兼知君) 御異議ナ
イト認メテ全會一致デ此案ハ可決ト云フコ

時ニハ、折角此検査ヲ行ハレテモ之ガ爲ニ
不安ナ狀態ヲ示シテ、杞憂ヲ抱カシメタヤ
ウニ是ハ一ツ、十分御努力ヲ願フテ置キタイ

○國務大臣(町田忠治君) 午前ニ本會議ニ
於キマシテ蠶絲業組合法提出ノ理由ノ大體
ヲ申述ベテ置キマシタガ、此委員會ニ於キ

ト思ヒマス、ソレカラモウ一ツハ極ク當リ
前ノコトヲ申上ゲルヤウデスガ、此検査ノ
完全ナルコト、ソレカラ敏活ヲ期シテ戴キ

リマスル同業者ノ團體ガ今日色ミアリマス、
即チ養蠶者ノ團體、重要物産同業組合ト申
ス團體、蠶絲業同業組合中央會ト申ス團體、

上ゲタノデアリマスカラ、強制的ニモ十分
敏活ニ御活動アツテ御獎勵ヲ願ヒタイ、此二
ツニ付テ意向ヲ申上ゲテ此案ニ賛成スル次

ニモ完全イタシテ居ラヌガ爲ニ、此團體ノ
組織等ニ於テモ徹底ガ致シテ居リマセヌ、
從ッテ其團體力モ微弱デアリマシテ、遺憾ナ

第デアリマス
○副委員長(子爵伊集院兼知君) 皆サン何
カ御議論ハアリマセヌカ

點ガ今日マデ少クナカッタノデアリマス、然
ルニ蠶絲業ノ現狀竝ニ前途ヲ見マスルニ、
蠶絲業ニ關スル各業態ハ合シテ一團トナッ

テ採決ヲ致シタイト思ヒマス、此案ニ皆サ
ン御異議ハアリマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

テ、共同ノ力ニ依ッテ改善ヲ要スルモノガ多
多アリマスルト同時ニ、蠶絲業全體ノ利益
ヲ擁護スル爲ニ互ニ慈惠シテ、大局ノ上カ

○副委員長(子爵伊集院兼知君) 全會一致

ラ局面ヲ打開スル其爲ノ、當業者ノ自治的

統制ノ組織ヲ持ッテ居ル團體制度ヲ作ル必
要ガ今日迫ッテ居ルノデアリマス、蠶絲業組
合法案ハ右ノ趣意ニ依リマシテ出來マシタ
ノデ、其骨子トナル所ヲ申上ゲマスレバ、
此法案ニ依ッテ蠶絲業組合法ニ依ッテ出來マ
スル組合ハ、ドウ云フ按排ニ分ルカト申
シマスレバ、第一ハ養蠶業ノ組合、種製造
業者ノ組合、三番目ニハ俗ニ申シテ居リマ
スル組合製絲ノ組合、蠶業組合ニ基イタ
製絲組合、俗ニ申シマスル營業組合、營業
生絲ヲ致シテ居ル組合ト生絲業者ノ組合、
輸出業者ノ組合ト、斯ウハツニ分ッテ各業別
ニ此組合ヲ組織スルノデアリマス、但シ養
蠶業組合ハ更ニ道府縣聯合會、全國聯合會
ト云フ團體ニ相成リ、其他ノ組合ハ全國聯
合會ヲ組織シマシテ、各業別ニ全國聯合會
ガアリマスガ、全國聯合會ヲ更ニ又合シテ、
日本ノ中央蠶絲會ト云フ最高機關ヲ組織シ
テ、コゴデ蠶絲業全般ノ統一團體トスルト
云フノデアリマス、次ニ養蠶業組合ハ現在
御承知ノ通り、任意組合トシテ、全國ニ普
及シテ居ル養蠶組合デアリマス、凡ソ二万
六七千ノ任意組合ガアルト相成ッテ居リマ
ス、之ヲ任意組合デナク、簡單ナル、簡易
ナル法人ト致シテ、個々ノ養蠶者ヲ組合員
トスル所ノ不便ハ是デ避ケル積リデアリマ

ス、蠶絲業組合ハ蠶絲業ノ改良、發達ニ必
要ナル事業ヲ行フト共ニ、行政官廳ノ特別
ノ監督ノ下ニ事業統制ヲ行フコトト此蠶絲
業組合ヲ致シタノデアリマス、法文ニアル
ト思ヒマスガ、蠶絲業組合ハ申スマデモナ
ク、郡單位デ出來テ居ルノデアリマス、蠶
絲業組合ハ即チ之ヲ法人ト致シマシテ、組
合員タル資格ヲ有スル者ハ加入ノ手續ヲ俟
タズシテ當然組合員トナリ、經費過意金ニ
付キマシテモ強制徴收ヲナシ得ルコトトシ
テ、組合ノ維持存立ヲ確保スルコトト致シ
タノデアリマス、蠶絲業組合ノ地區ハ、養
蠶業組合ニアッテハ、原則トシテ郡市ヲ區域
ト致スノデアリマス、養蠶業組合ニ限ッテ郡
市ヲ區域ト致シ、更ニソレガ道府縣聯合會
トナリ、更ニ進ンデ全國聯合會ト相成ルノ
デアリマス、養蠶業組合ヲ除キマスル他ノ
製絲トカ種トカ云フ總テ他ノ蠶絲業ノ組
合ニアッテハ、養蠶業組合ガ原則トシテ郡市
ヲ本トスルニ反シテ、他ハ皆府縣ノ區域ニ
依ッテ作りマシテ、ソレガ集メテ全國聯合會
トナルノデアリマス、日本中央蠶絲會ハ最
高機關デアリマシテ、蠶絲業全般ニ互ル事
項、殊ニ事業ノ統制、及ビ對外關係等ノ事
項ヲ掌ル所ト致シタノデアリマス、此制度
ガ施行ニナリマスレバ、茲ニ最高機關タル

日本中央蠶絲會ガ成立出來マスルガ故ニ、
現在アリマスル所ノ蠶絲業同業組合中央會
ハソレノ手續ヲ經テ之ヲ解散スルコトト
致シタ譯デアリマス、大體ハ系統的ニ各團
體ヲ分チマシテ、是ガ東京ニハ全國聯合會
ト云フ六團體ガ出來マシテ、ソレヲ更ニ最
高機關ノ日本中央蠶絲會ト云フ、最高機關
デ統一シテ指導獎勵等、海外ニ對スルヤウ
ナ重要ナル事項ノ統一ヲ圖ルト云フコトデ
ゴザイマス、モウ一ツノ蠶絲業法中改正法
律案ハ主トシテ中央會ガ、此法案ニ依ッテ日
本中央蠶絲會ガ出來マス同時ニ、ソレガ
廢サレルコトト相成リ、又現在ノ蠶絲製造
業者ノ同業組合ト同様ニ、之ニ依ッテ出來タ
組合モ自治檢査ヲ行ハセ得ルコトノ途ヲ開
ク、此二點ガ蠶絲業法中改正法律案ノ改正
デアリマシテ、畢竟スルニ蠶絲業組合法ガ
新ニ出來マシタ結果トシテ多少ノ改正ヲ加
ヘタト、斯様ナ次第デアリマス、宜シク御
審議アラムコトヲ望ミマス

會合ニ代表者ヲ出シテ、相當意見ノ交換モ
行ヘルト云フコトニナルコトハ誠ニ私ハ結
構ナコトト思ヒマスガ、私ノチヨット疑問ヲ
持ッテ居リマスルノハ、此養蠶業組合ト云フ
モノハ、今マデノ組合ガサウデアリマスガ、
ドウカ能ク存ジマセヌノデアリマスガ、將
來トモ此養蠶ノ本ニナル所ノ桑園、詰リ
桑ノ畑デアリマス、桑園ノ經營ト云フモノ
ハ、無論此養蠶業ノ中ニ包含サレルノデア
リマスガ、或ハ現在モ包含サレテ來テ居ル
ノデアリマセウカ、現ニ養蠶者ガ傍ラニ桑
園ノ經營ヲヤッテ居ルト云フ者モアリマセ
ウ、併ナガラ農村ニ於テ單獨ニ此桑園經營
ト云フコトヲ目的トシテ立ッテ居ル農民ガ
アルノデアリマシテ、是等ノ者ハ矢張り此
養蠶組合ノ中ニ包含サレテ行クノデアリマ
セウカ、現在モサウ云フ風ニナッテ居リマス
カチヨット……

○國務大臣(町田忠治君) 甚ダ委員各位ニ
相濟ミマセヌガ、衆議院デ追加豫算ノ討論
審議ガ始マッテ、總理大臣初メ出デ居リマ
スカラ、各大臣モチヨット列席セヨト云フ
コトデアリマスカラ、暫時行ッテ參リマスガ
ラドウゾ私ニ對スル御尋ハ參リマシテカ
ラニ……、其他何カ事務的ノコトハ局長ヨ
リ……

○政府委員(小平權一君) 平野サンノ御質問ニ御答ヘ致シマスルガ、現在桑ノミヲ作

リマシテ、養蠶ヲ全クヤラナイト云フ農家ハ非常ニ少ナイノデアリマシテ、今マデノ養蠶組合、二万七千ノ任意組合タル養蠶組合ニモ殆ド入ッテ居リマセヌシ、現在ノ養蠶業同業組合ニモサウ云フ方ハ殆ド入ッテ居リマセヌ、此法案ノ養蠶業組合ノ基礎トナル養蠶實行組合ト云フノハ、養蠶業者ノ作タ法人タル實行組合ヲ押ヘテ行ッテ居リマス、併シ少シデモ養蠶ヲ致シマスレバ、全部養蠶業組合ニ關係ガ出來ル譯デアリマシテ、養蠶業ノ指導獎勵ト云フ點カラ見レバ桑ノ生産ハ、桑ヲ賣ルト云フ業者ハ少ナイノデアリマスカラ、之ニ入レマセヌデモ十分指導獎勵スルコトガ出來ル、斯ウ考ヘタノデアリマス

○男爵平野長祥君 只今ノ御答辯ニ依ッテ

見マスルト桑園ノミヲ單獨ニ經營シテ少シモ養蠶ノ業ニハ携ハラヌト云フモノハ輕少デハアルガ多少アルト云フコトデアリマスレバ、何トカソコニ御考ガアリマセヌケレバ、矢張り當局トシテハ大體蠶絲業施設ノ上ニ色々御骨折リニナリ、現ニ桑園ノ改良等ニモ十分御盡シニナッテ居ルノデアリマスカラ、今後はガ有利ニナルコトデアッテ養

蠶ハ少シモヤラヌ、但シ、桑園ノ經營ハ益

有利デアリ、且ツ是ハ大切ナコトデアアルカラ、斯ウ云フコトヲ單獨ニ經營スルト云フモノハ自然殖エタ曉ニハ、ドウシテ之ヲ關係以外ニ置クト云フコトハ、大體此蠶絲業ノ統制ノ上ニドウモ缺ケテ居ルデハナカラウカト思ハレマスガ、若シサウ云フ場合ヲ豫想シテ、豫メ單獨ノ桑園經營者モ、此養蠶業ノ中ニ含メテシマウトカドウトカ云フコトヲ何カ法案其モノニ現ハサヌデモ、細則カ何カサウ云フ風ニ御改メニナルトカ、サウ云フヤウナ細則デモ御作リニナルト云フヤウナ御考ハアリマセヌデセウカ、如何デスカ

○政府委員(小平權一君) 平野サンニ御答

ヘ致シマスガ養蠶業ノ發達ノ今マデノ徑路ヲ見マス、桑ヲ作ッテ賣ルト云フコトガ、サウ云フ桑ノミヲ作ルト云フ業者ハ段々減ルヤウナ傾向デゴザイマス、又實際養蠶業ノ經營トシテハ他人ノ生産シタ桑ヲ買ッテソレダケデ養蠶ヲ經營シテ居ルト云フコトハ、養蠶ノ經濟カラ言ヘバ非常ニ經濟ガマヅイ、養蠶業ノ經營ヲ合理的ニシ、生産費ヲ廉クシ、違作ノナイヤウニシ、サウシテ養蠶業ヲ改良シテ行クニハドウアッテモ自分デ栽培シテ自分デ取ッタ桑ヲ使ハヌト云

フト養蠶業ガウマクイカナイノデアリマス、

ドウシテモ他人ノ栽培シタ桑ノ葉ヲ持ッテ來テ養蠶業ヲ營ムト云フコトハ、養蠶業ノ經營ヲ改善シ、合理化スルニハ寧ロサウ云フコトハ餘リ勸メタクナイ、斯ウ考ヘテ居リマス、從來ノ傾向デモ段々桑ダケヲ賣テ、唯養蠶ヲ飼ハナイデ居ルト云フ業者ハ段々減ッテ居ルヤウニ、マア各地ノ調ベニ依リマス、サウ云フ傾向ニナッテ、養蠶業トシマシテハドウシテモ自ラ桑ヲ栽培シ、自ラノ桑ヲ以テ養蠶ヲ飼育スルト云フコトニ致シタイト云フ考ヲ以テ、養蠶業ヲ捉ヘテ此統制ノ團體ニ入レルト云フ方針ヲ立テタ次第デアリマス

○男爵平野長祥君 私ガ何故サウ云フ質問

ヲ發シタカト申シマス、實ハ近來新聞紙上等ニモ現ハレテ居リマスガ、此桑ト云フモノガ、養蠶ノ土臺ヲ造ル桑ノ葉ハ其方ニ向ケラレマスガ、桑ノ若イ軸ノ皮ト云フモノガ近來英國邊リデモ非常ニ所望シテ、製紙ノ原料トシテ大分之ニ付テモ利益ガアルヤウニ見受ケラルルノデアリマスガ、サウ云フコトニナリマス、自然此養蠶バカリト云フ目的ヲ以テヤラズシテ、一方ニ製紙ノ原料トシテ十分利益ヲ見ラレルコトモアルカラ旁、以テ桑園ヲ單獨ニ、養蠶ハヤラヌ

ケレドモ經營ヲスルト云フモノガ起リハセ

ヌカト私ハ考ヘテ居ルモノデスカラ、若シサウ云フモノガ澤山起リマシタ場合ニハ、是ハドノ組合ニ矢張り、關聯シタモノデアリマス、加ハッテ行クモノデアラウカ、疑問ヲ持チマシタカラ其御質問ヲ申上ゲタノデアリマス

○副委員長(子爵伊集院兼知君) 如何デセ

ウ、此法案ハ相當ノ條文ガアリマスカラ、今日ハ此邊デ止メテ研究シタ上デ質問スル、斯ウ云フコトニ致シタ方ガ宜イカト思フノデアリマス、如何デセウカ

○副委員長(子爵伊集院兼知君) 今日ハ此

程度デ止メマス

午後二時三十七分散會

出席者左ノ如シ

副委員長 子爵伊集院兼知君
委員 男爵平野 長祥君
加藤政之助君
三木與吉郎君
山上 岩二君

國務大臣 農林大臣 町田 忠治君

政府委員 農林省蠶絲局長 小平 權一君

説明員 生絲検査所技師 芳賀權四郎君